



# 「アジア太平洋学」の構築 を目指す新しい段階

2016年10月12日

立命館アジア太平洋大学 初代学長

学校法人立命館 名誉役員

坂本 和一

An Epoch of the

時代

アジア太平洋のエポック

立命館アジア太平洋研究センター 編  
坂本和一



法律文化社

the Asia-Pacific

# 1. 「アジア太平洋学」という発想

1. 1980年代、90年代のアジア太平洋の経済発展を背景に

→アジア太平洋地域の経済発展の背景を探る

:アジア太平洋の自然的、社会的、文化的多様性、ネットワーク的つながりの重要性

→経済発展による社会変化、文化変化の研究

2. 個別研究の寄せ集めを超えた体系的 연구를

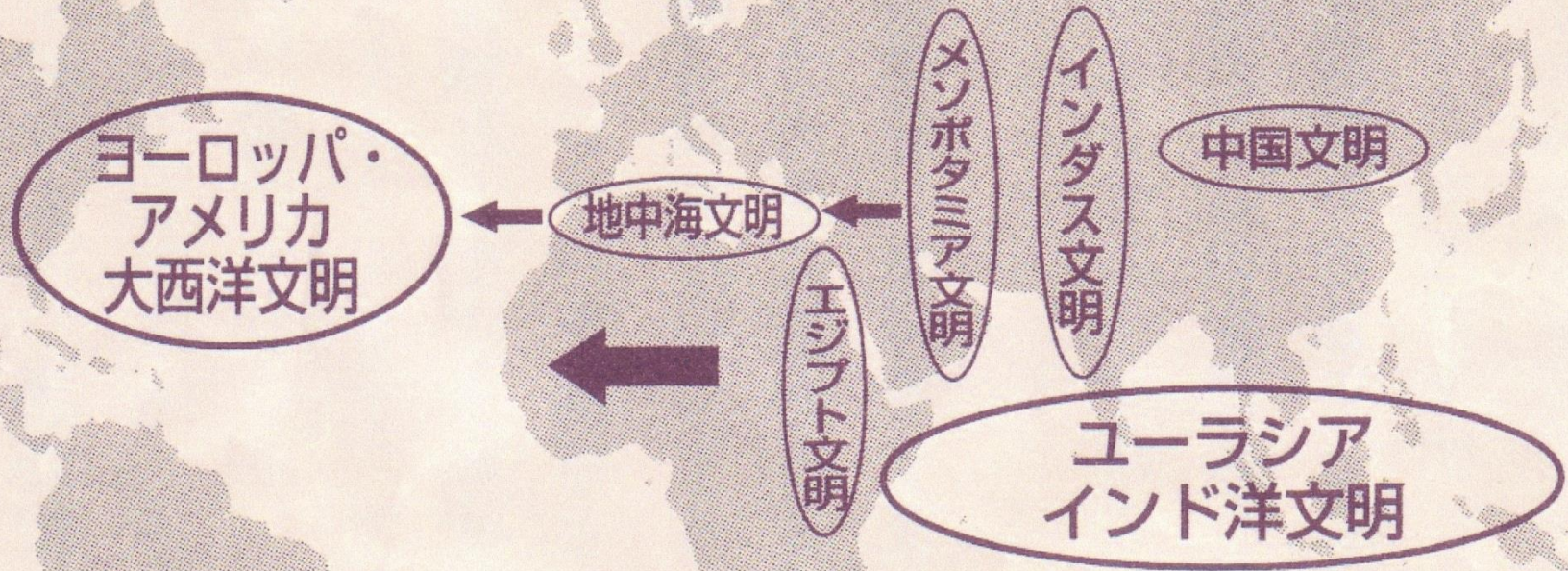
→APUの教学体系の基礎として必要

3. APUに集まる、アジア太平洋人による「アジア太平洋学」を

## 2. 研究の基本視点

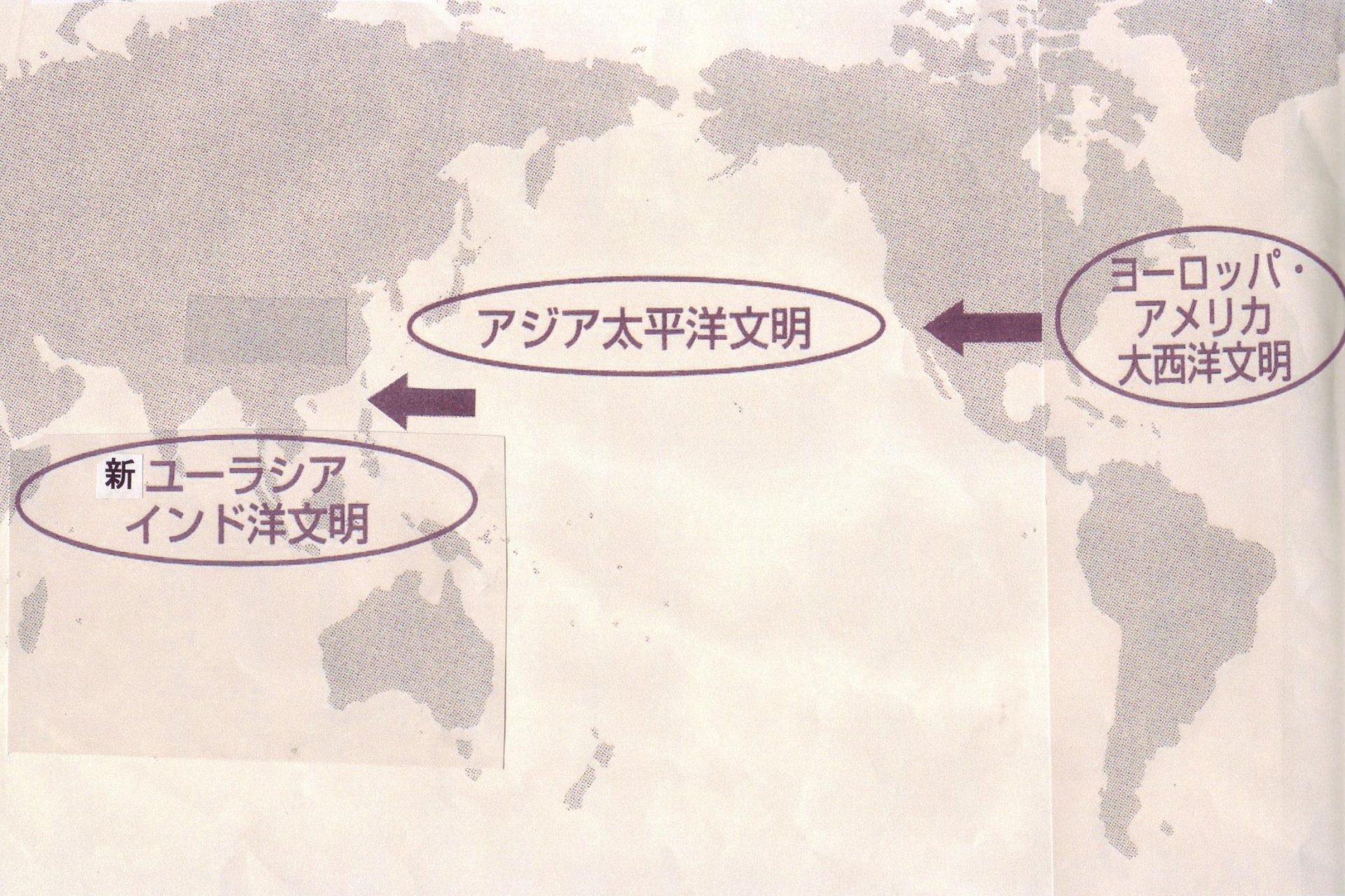
1. アジア太平洋の発展は文明的現象
  - 文明の中心軸(進化の先端)は遷移する。
  - 到来する新しい文明としての「アジア太平洋文明」
  - 既存の諸文明は衝突しているか:「文明は共存と融合の方向に向かっている。」
  - 「アジア太平洋学」の文明志向
2. アジア太平洋文明構築のための政策を探る。
  - 政策志向の研究: 経済、社会、文化、宗教、自然保護、人材育成など
  - 「アジア太平洋学」の政策志向





文明の中心軸は遷移する ①





ヨーロッパ・  
アメリカ  
大西洋文明

アジア太平洋文明

新ユーラシア  
インド洋文明

文明の中心軸は遷移する ②



# 3. アジア太平洋時代の新展開

1. 「アジア太平洋学」の構想は、アジア太平洋時代浮上期(1980, 90年代)に提起された。

2. 21世紀後のアジア太平洋

①アジア太平洋における所得水準の急上昇と中間層の拡大。これを背景とするアジア太平洋浮上の広がり: 日本→NIEs→中国、インド→ASEAN→中央アジア、中東

→多様化するアジア太平洋の時代

→APU学生の出身が示すアジア太平洋の多様化



②アフリカ、中南米の浮上

→世界化するアジア太平洋の時代

③国境を越える人々の移動の圧倒的拡大

④米国の地位の相対的低下

→ポストG0の世界(グローバルリーダーなき時代)

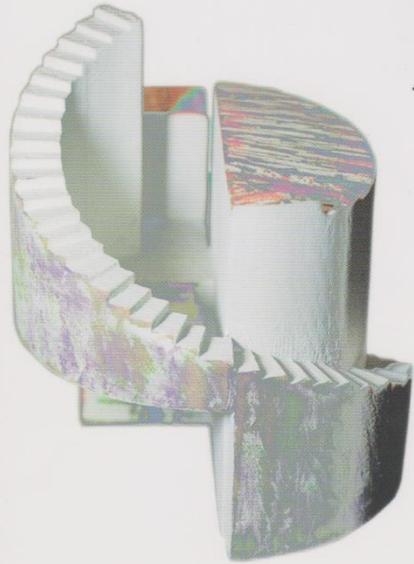
⑤2015年12月、世界196カ国が参加した、地球の気候温暖化防止のための「パリ協定」(国際合意)の意義



Ian Bremmer

EVERY NATION  
FOR ITSELF

Winners and Losers  
in a G-Zero World



# Gゼロ後の 世界

主導国なき時代の  
勝者はだれか

Ian Bremmer  
イアン・ブレマー

Itaru Kitazawa  
北沢 格 [訳]

日本経済新聞出版社

# ポスト 西洋世界は

「多様な近代」への大転換

チャールズ・カプチャン 著  
坪内 淳 監訳 小松志朗 訳

どこに  
向かうのか

No One's World:  
The West, the Rising Rest,  
and the Coming Global Turn

行き着く

のは

混沌か？

もはや西洋の政治・経済モデルは  
唯一正しいものではない。

西洋が世界を圧倒した近代史を振り返り、  
西洋モデルが通用しない

「誰のものでもない世界」の  
到来を鋭く描き出す。

新たな

覇権か？



# FOREIGN AFFAIRS REPORT

## 蘇るロシアの歴史的行動パターン

— プライドと大きな野望、そして脆弱なパワーという現実

## サウジと米大統領選挙

— クリントン、トランプ、リヤド

## 苦悩するヨーロッパ

## 地球を覆うエアロゾルを削減せよ

— エアロゾルの拡散と水資源の減少

## 中国国有企業改革の実態

— 切り捨てられる企業と温存される企業

## 中国のコーポレートパワー

— 中国企業が市場を制する日はやってくるのか

## デジタル時代の外交

— 大使館は依然として必要か

## ロシア経済のポテンシャルを開花させるには

## 大西洋同盟の未来

## ヒラリー・クリントンのフェミニスト外交

オバマは広島を訪問すべきなのか  
— 感情と理念と政治

将来を悲観する必要はない  
— キシヨール・マフバニ、ローレンス・サマーズ

# 文明は衝突せず、融合している

[www.foreignaffairsj.co.jp](http://www.foreignaffairsj.co.jp)

NO.5  
2016

Published by  
FOREIGN AFFAIRS, JAPAN



# 4. 「アジア太平洋学」課題の展開

## ① 発展と秩序

→ 「秩序」構築の課題の拡大：政治、経済、安全保障、地球環境管理など

→ 緊急課題としての難民・移民問題（人間の安全保障）

## ② 文明理念の深化

→ アジア太平洋文明を象徴する理念（APUの建学理念）：「自由、平和、ヒューマニティ」

→ 西欧文明を象徴する「民主主義」

→ アジア太平洋文明の理念に「民主主義」は必須か。

cf. APUの理念には「民主主義」は入れていない。

→ 西洋文明とアジア太平洋文明を融合する新しい世界文明を展望できるか。

### ③経営理念の深化

→アジア太平洋固有の経営理念の創造

→「利己の経営」から「利他の経営」へ

→イノベーション重視の経営理念

### ④人材育成の理念

→「APUはどのような理念を持った人材育成を目指すか。」

→建学の理念を具現化するとき

→人材育成の理念を明確に持ったインスティテュートを世に問う時代



ご清聴、  
ありがとうございました。